

只見統合簡易水道事業(黒谷地区)がスタート



▲黒谷浄水場が設置される水源地での試掘状況

黒谷簡易水道の水源施設が、現在の場所から、黒谷川上流部の黒谷字黒下地内に移設されます。同時に配水池も新たに整備されることにより、さらに安全・安心・安定した上水道の供給が可能となります。町は、ライフラインの機能充実と生活環境の向上を図るため、今年度、この事業に着手しました。

基本方針

本事業では、只見町の簡易水道事業5件、専用水道事業2件、給水施設2件の計9件の水道事業を一元化させ、経営基盤の強化を図ることが目的です。

その中で只見町全体の維持管理の効率化や安定した水の供給のため黒谷簡易水道の水源の移設や配水池の設置などを計画し、今年度、本事業に着手しました。

黒谷簡易水道は昭和30年に創設され現在に至っています。農業集落排水施設、合併処理浄化槽の整備が90%以上進んでおり、それに伴い水道の使用量も増加しています。また、近年は只見中学校や朝日診療所の新設など、以前よりさらに町の重要施設が集約し設置されているこ

とからも、安定した水の供給が求められています。

既設の井戸(浅井戸)は付近の消雪用井戸などの影響により冬期間に水位が低下していることから本事業では、より安定した水の供給のために水源を移設するものです。また、現在の維持管理が複雑で給水できなくなる要因が多いポンプ直送方式から、新たに配水池を設けた自然流下方式に変更し、より安定した水の供給を図り、町民の皆さんの生活環境基盤の向上を実現していきます。

おもな計画の内容は次のとおりです。

- ▽計画目標年次 平成24年度
- ▽計画給水人口 1,520人
- ▽1人1日当り最大計画給水量

0.612m³/日

▽1人1日当り平均計画給水量

0.458m³/日

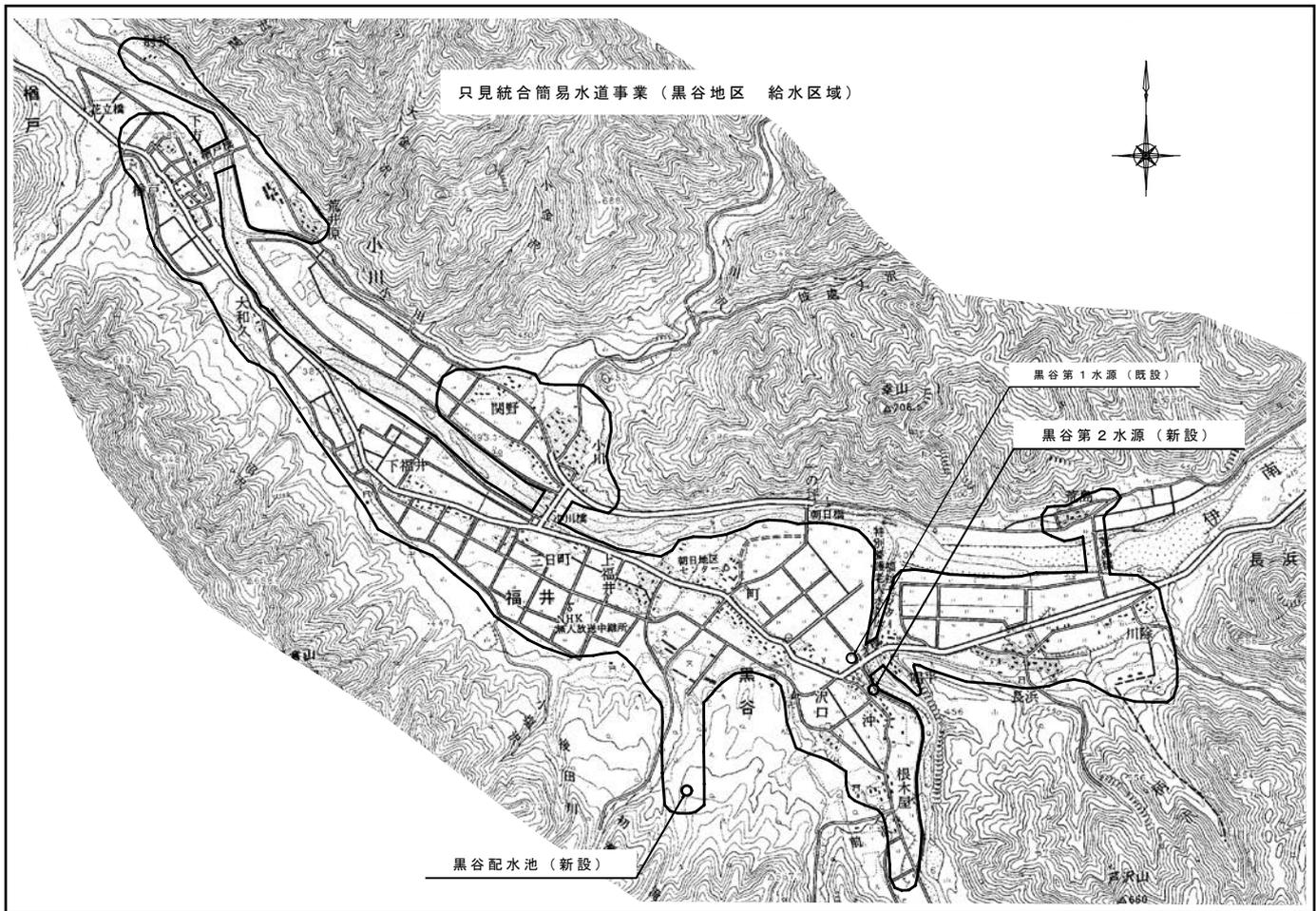
黒谷浄水場の概要

新たに設置される水源施設の概要は

- ▽限界揚水量 1890m³/日
- ▽計画取水量 930m³/日
- ▽浄水設備 塩素滅菌器

安心して使用いただける水を、安定して供給できる施設として整備いたします。





■ 施設整備計画

施設別	工種別	数量	工期
水源施設	井戸ピット築造工	1式	平成23年
	ポンプ設備工	2台	〃
浄水施設	管理棟築造工	1棟	平成23年
	浄水設備工	1式	〃
	敷地造成工	1式	〃
	電気計装設備	1式	〃
	場内配管工	1式	〃
	門柵工	60m	〃
送水施設	送水管布設工	200m	平成23年
	送配水管布設工	800m	平成24年
配水施設	配水池築造工	1式	平成24年
	敷地造成工	1式	〃
	量水器ピット築造工	1式	〃
	電気計装設備	1式	〃
	場内配管工	1式	〃
	配水管布設工φ100	200m	〃
	配水管布設工φ75	200m	〃
	門柵工	80m	〃

●平成22年度は、浄水場、配水池、送・配水管路の測量・調査・設計を実施します。

■ 財政計画

【単位：千円】

財源別内訳	総額	22年度	23年度	24年度
総事業費	223,337	23,343	56,723	143,271
国庫補助対象事業費	199,230	20,859	41,122	137,249
国庫補助額	66,409	6,953	13,707	45,749
県費補助額	0	0	0	0
市町村負担額	121	6	15	100
起債額	132,700	13,900	27,400	91,400
その他	0	0	0	0
その他単独事業費	24,107	2,484	15,601	6,022
用地取得費	473	473	0	0
うち国庫補助額	0	0	0	0
補償費	0	0	0	0
うち国庫補助額	0	0	0	0

●平成24年度までの計画です。

●3年間の総事業費は2億2千3百万円となっています。

●平成22年6月現在の確定額です。